

まとめてデータ引越 取扱説明書

2014年7月

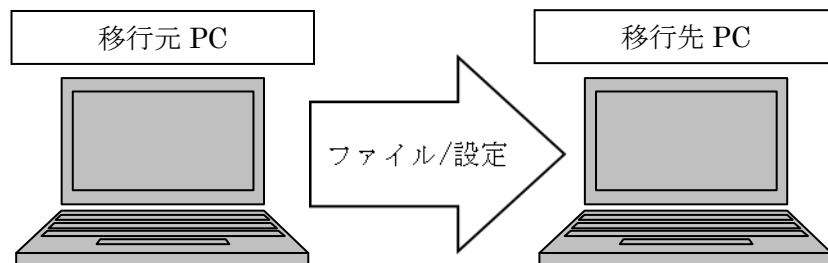
本ソフトは、クロスLANケーブルによる1対1接続を使用して古いPC(移行元PC)から新しいPC(移行先PC)へファイル/フォルダ等のユーザデータ・メールデータ・Windows 設定・ブラウザ設定を移行するソフトです。本ソフトを利用するためにインストールは必要ありません。

目次

1. 概要.....	2
2. 機能.....	3
3. 動作条件	4
4. 使用上のご注意.....	5
5. 使用方法	6
6. トラブルシューティング.....	17
7. お問い合わせ等.....	21

1. 概要

本ソフトは、現在使用中の古い PC(以後、移行元 PC と呼称)のファイルや設定などのデータを、クロス LAN ケーブルを使って新しい PC(以後、移行先 PC と呼称)へ移行するソフトです。異なる OS 同士でもネットワーク設定を自動で行いますので、移行元 PC と移行先 PC をクロス LAN ケーブルで接続するだけで移行することができます。



(※) LAN ケーブルでの接続方法については、5 章 使用方法を参照ください。

2. 機能

本ソフトで移行が可能なデータは、以下の通りです。

・ユーザデータ

マイドキュメント/マイピクチャ/マイミュージック/マイビデオ/デスクトップに含まれるファイルおよびフォルダと、ユーザが指定した任意のフォルダを移行できます。任意のフォルダは 16 個まで選択できます。

・メールデータ

Outlook Express/Windows メール/Windows Live メール/Microsoft Outlook のメールアカウント/メッセージ/アドレス帳を移行できます。移行に対応しているメールソフトの組み合わせは以下の通りです。

移行元 \ 移行先	Outlook Express	Windows メール	Windows Live メール	Microsoft Outlook
Outlook Express	×	×	○	×
Windows メール	×	×	○	×
Windows Live メール	×	×	○	×
Microsoft Outlook	×	×	×	○(*1)

(*1) : Microsoft Outlook へ移行した場合、メールアカウントは手動で設定する必要があります。

・ブラウザ設定

Internet Explorer のホームページ設定とお気に入りフォルダ、および Firefox/Google Chrome の環境を移行できます。

(※)Firefox/Google Chrome は、移行元 PC と移行先 PC に同じバージョンをインストールする必要があります。

・Windows 設定

Windows の壁紙/スクリーンセーバーを移行できます。

本ソフトで移行が可能な OS の組み合わせは、以下の通りです。

移行元 \ 移行先	Windows XP	Windows Vista	Windows7	Windows8
Windows XP	×	×	○	○
Windows Vista	×	×	○	○
Windows 7	×	×	○	○
Windows 8	×	×	×	○

3. 動作条件

本ソフトの動作条件は、以下の通りです。

項目	移行元 PC	移行先 PC
機種	PC/AT 互換機	PC/AT 互換機
CPU(*1)	下記 OS が正常に動作するスペック	1GHz 以上
メモリ容量(*1)	下記 OS が正常に動作するスペック	2GB 以上
HDD 容量(*1)	下記 OS が正常に動作するスペック	20GB 以上
HDD 空き容量	20MB 以上(プログラムファイル用)	20MB 以上(プログラムファイル用)のほか、移行するデータの約 2 倍の空き容量が必要
OS	Windows XP Professional SP3 (32bit) Windows Vista Business (32bit) Windows7 Professional (32bit/64bit) Windows8 (64bit)	Windows 7 Professional (32bit/64bit) Windows8 (64bit)
対応メールソフト(*2)	Outlook Express 6.0 Microsoft Outlook 2003/ 2007/2010 Windows メール 6.0 Windows Live メール 2012	Windows Live Mail 2012 Microsoft Outlook 2010
ネットワーク環境	内蔵 LAN アダプタがある事	内蔵 LAN アダプタがある事
通信プロトコル	TCP/IP	TCP/IP
ディスプレイ	XGA(1024x768)以上	XGA(1024x768)以上
ドライブ	CD-ROM または DVD-ROM ドライブ	CD-ROM または DVD-ROM ドライブ
その他動作条件	メールフォルダ 1 つ当たりのメール件数 : 10000 件まで メールフォルダ 1 つ当たりの容量: 1GB まで メールサーバの形式 : POP 形式のみ対応	メールフォルダ 1 つ当たりのメール件数 : 10000 件まで メールフォルダ 1 つ当たりの容量: 1GB まで メールサーバの形式 : POP 形式のみ対応

(*1):各 OS が正常に動作する性能が必要です。

(*2):動作確認済の OS とメールソフトの組み合わせは、以下の通りです。

移行元 PC		移行先 PC	
OS	メールソフト	OS	メールソフト
Windows XP	Outlook Express6.0(6.0.2600.0000)	Windows7 Windows8	Windows Live Mail2012(16.4.3522.0110)
Windows Vista	Windows Mail6.0(6.0.6000.16386)		Windows Live Mail2012(16.4.3522.0110)
Windows 7	Windows Live Mail2012(16.4.3522.0110)	Windows8	Windows Live Mail2012(16.4.3522.0110)
Windows 8	Windows Live Mail2012(16.4.3522.0110)		Windows Live Mail2012(16.4.3522.0110)
Windows XP	Microsoft Outlook 2003(11.6359.6360)	Windows7 Windows8	Microsoft Outlook2010(14.0.7128.5000)
Windows Vista	Microsoft Outlook2007(12.0.4518.1014)		Microsoft Outlook2010(14.0.4760.1000)
Windows 7	Microsoft Outlook2010(14.0.7128.5000)	Windows8	Microsoft Outlook2010(14.0.4760.1000)
Windows 8	Microsoft Outlook2010(14.0.4760.1000)		Microsoft Outlook2010(14.0.4760.1000)

※今後のバージョンアップによっては正常に動作しないことも考えられますので、ご購入後に動作しない場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

4. 使用上のご注意

本ソフトの動作に関するご注意

- 本ソフトを使用する際は、**管理者権限を持つユーザでログイン**する必要があります。
- 移行先 PC の OS は、移行元 PC と同じか、より新しい OS である必要があります。
- 64 ビット OS から 32 ビット OS へ移行することはできません。
- 本ソフトで他のアプリケーションソフトそのものを移行することはできません。
- 本ソフトの動作中に、LAN ケーブルを PC から取り外さないでください。
- HUB 経由で接続する場合、HUB に接続する機器は移行元 PC と移行先 PC のみとし、他の装置は取り外してください。
- 本ソフトを使用する前に、タスクトレイに**常駐するソフトを含む他のソフト(特にセキュリティソフト)**を全て終了してください。本ソフトの動作中に別のウィンドウが起動したり、操作対象のメールソフトが停止した場合や、セキュリティソフトによって機能制限が掛かっている場合、正常に移行できなくなる可能性があります。
- 本ソフトを使用する前に一時的に**ファイアウォールソフトおよび Windows ファイアウォールを無効化**してください。ファイアウォールの設定によっては、移行作業に影響が発生する可能性があります。
- 本ソフトを使用する前に、**スクリーンセーバーや電源オプションの設定**でディスプレイの OFF や PC のスリープを“なし”にしてください。メッセージのコピー中など、長時間待機する期間にディスプレイや PC がスリープする可能性があります。また、ノート PC で使用する場合は必ず AC アダプターを接続してください。
- 本ソフトは Windows OS およびメールソフトの機能を利用して動作するため、Windows OS およびメールソフトの動作が不安定な状態では正常に動作しない可能性があります。
- 本ソフトでは移行したデータの内容はチェックできません。データの内容については必要に応じてご確認ください。

ユーザデータの移行に関するご注意

- 使用中のファイル、アクセス権がないファイル/フォルダについてはコピーできません。

メールデータの移行に関するご注意

- 本ソフトは複数アカウント/複数ユーザの移行には対応していません。ログインユーザの既定のメールアカウントだけが移行されます。
- メールソフトの自動操作中は誤動作を防ぐためマウス/キーボードからの入力が無効化されます。
- メッセージルールおよびアドレス帳のグループの移行はメールソフトのインポート仕様に準じます。
- 本ソフトを使用する前に、移行先 PC にメールソフトをインストールしておく必要があります。インストールするメールソフトは移行元 PC で使用しているメールソフトに依存します。2 章のメールソフトの組み合わせを参照してください。
- 移行先のメールソフトにアカウント、メッセージ、アドレス帳がインポートされていない必要があります。

5. 使用方法

本ソフトを使用してデータを移行する手順を説明します。

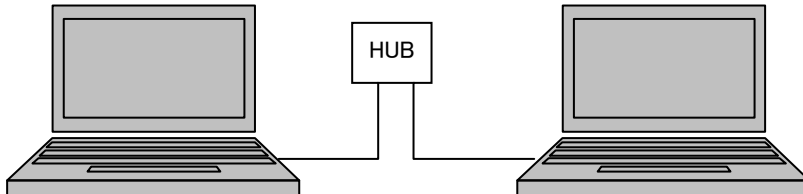
(5-1) 移行元 PC と移行先 PC を LAN ケーブルで 1 対 1 接続します。

クロス LAN ケーブルで接続する場合は、ケーブルの両端を直接 PC に接続してください。



通常の LAN ケーブルをご使用の場合は、HUB を 1 台ご用意の上、各 PC と HUB を接続してください。

* HUB へ接続する場合は、移行元 PC と移行先 PC 以外の装置は外してください。



移行先 PC での準備

(5-1) メールソフトのインストール

移行元で使用しているメールソフトに合わせて、以下のメールソフトを移行先 PC にインストールしてください。

移行元のメールソフトが Outlook Express 又は Windows メール又は Windows Live メール

→移行先 PC に Windows Live Mail をインストールしてください

移行元のメールソフトが Microsoft Outlook

→移行先 PC に Microsoft Outlook をインストールしてください。

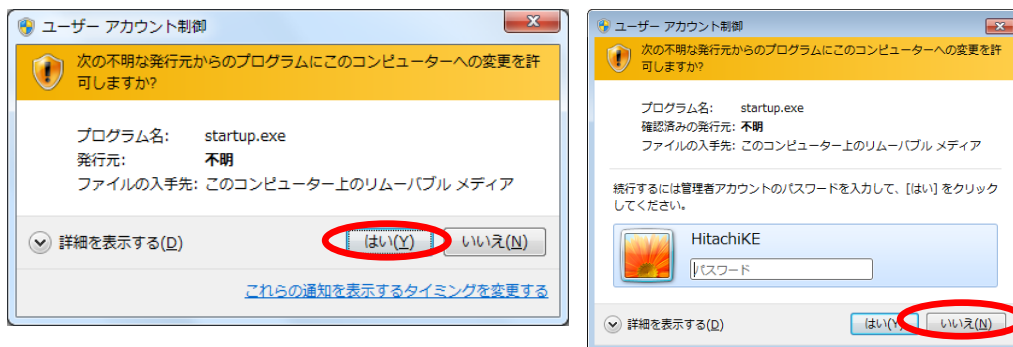
※インストールの方法は、各ソフトのマニュアルを参照ください。

(5-2) 本製品の CD を移行先 PC の CD ドライブに挿入し、Startup.exe を実行します。

* 本ソフトは管理者権限を持つユーザで実行してください。

* 起動時、左側のユーザーアカウント制御ウィンドウが表示された場合は「はい(Y)」をクリックします。

右側のウィンドウのように、パスワードを入力する画面が表示された場合は、「いいえ(N)」を押してキャンセルした後、6章トラブルシューティング(6-1)を参照して管理者権限を持つユーザに変更してください。



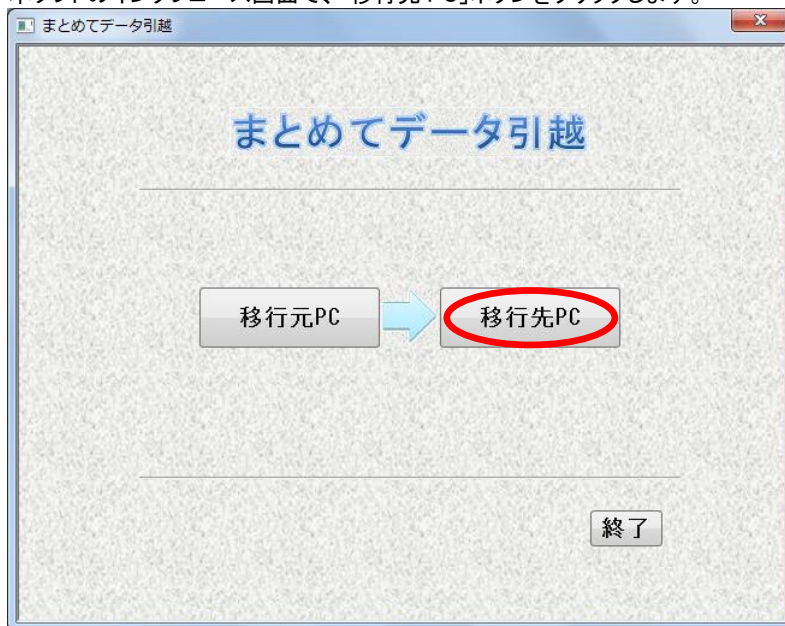
(5-3) ソフトが起動するまで待ちます。

Startup.exe を実行すると、以下のメッセージが表示されます。CD を取り外さずにお待ちください。

ソフトを起動しています。CDを取り外さないでください。

(5-4) 「移行先 PC」ボタンをクリックします。

本ソフトのインターフェース画面で、「移行先 PC」ボタンをクリックします。



(5-5) 電源オプションとスクリーンセーバー、ネットワークと共有センターの設定をします。

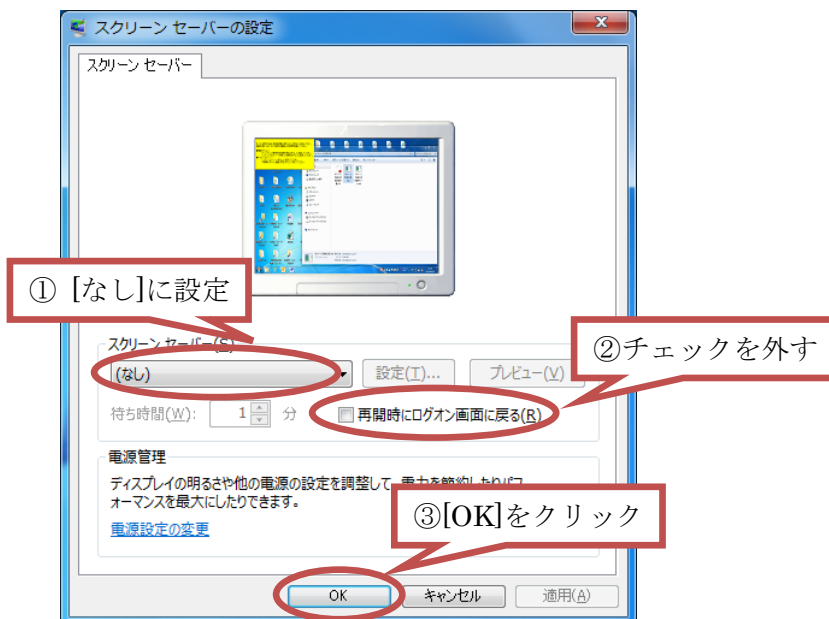
「移行先 PC」ボタンを押すと、PC の動作条件チェックを行ったのち、以下のメッセージと共に PC の電源オプション、スクリーンセーバー、ネットワークと共有センターの設定画面が表示されます。メッセージ内容に従って設定を変更してください。

- * 電源オプション、スクリーンセーバーの設定をしなかった場合、メッセージコピー中等の長時間操作しない期間に PC がスタンバイ状態になり、正常にインポート出来ない場合があります。
- * ネットワークと共有センターの設定をしなかった場合、正常にエクスポート出来ない場合があります。

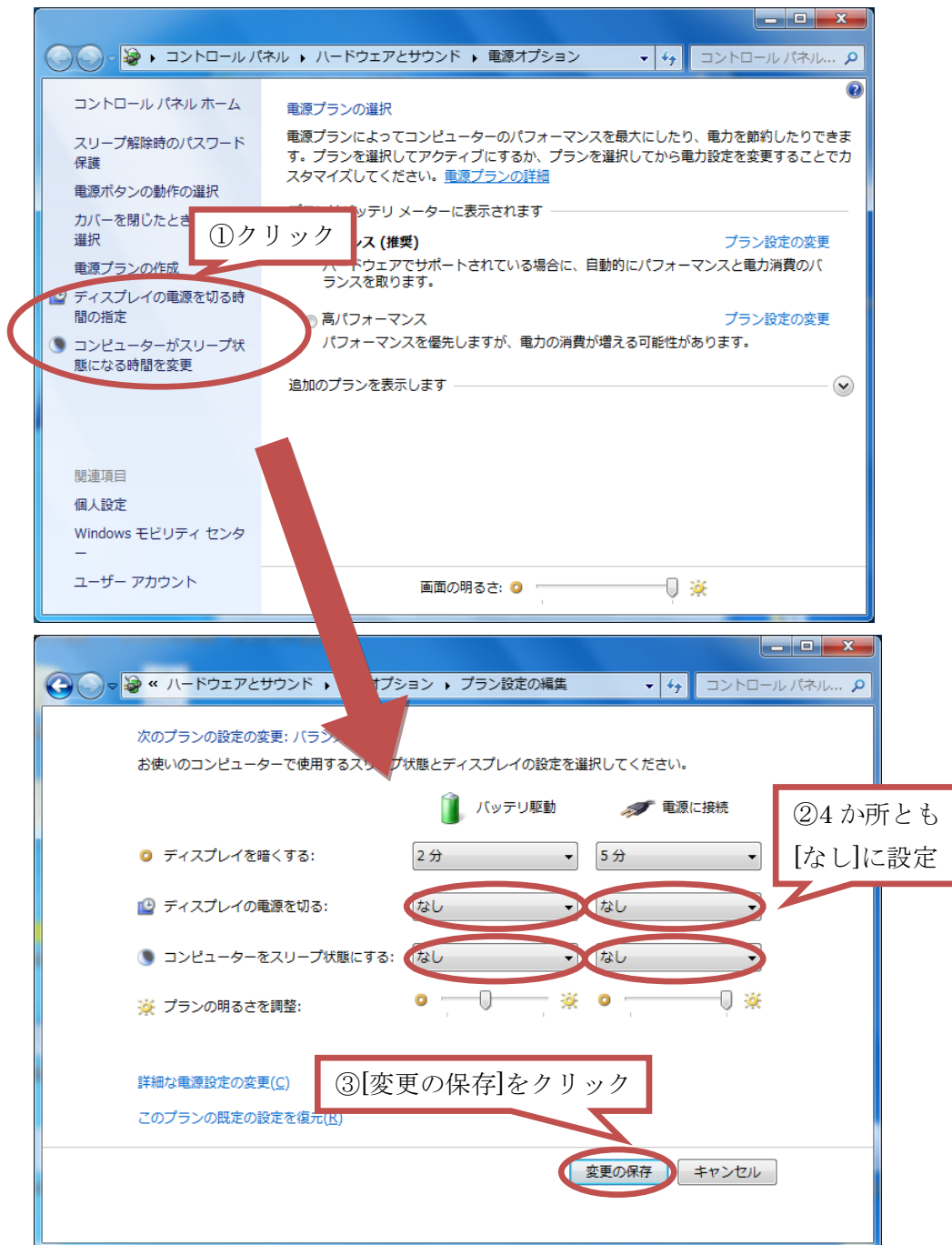
本ソフトを使用する前に取扱説明書の使用上のご注意をよくお読みください。
誤動作を防ぐため、以下の設定の確認および変更を実施してください。

- ◆電源オプション:
「ディスプレイの電源を切る時間の設定」を「なし」に設定してください。
「コンピュータがスリープ状態になる時間」を「なし」に設定してください。
- ◆スクリーンセーバー:
「スクリーンセーバー」を「なし」に設定してください。
「再開時にログオン画面に戻る」のチェックを外してください。
- ◆ネットワークと共有センター:
「共有の詳細情報の設定」から、
「ネットワーク探索を有効にする」を選択してください。
「ファイルとプリンターの共有を有効にする」を選択してください。
「パスワード保護の共有を無効にする」を選択してください。

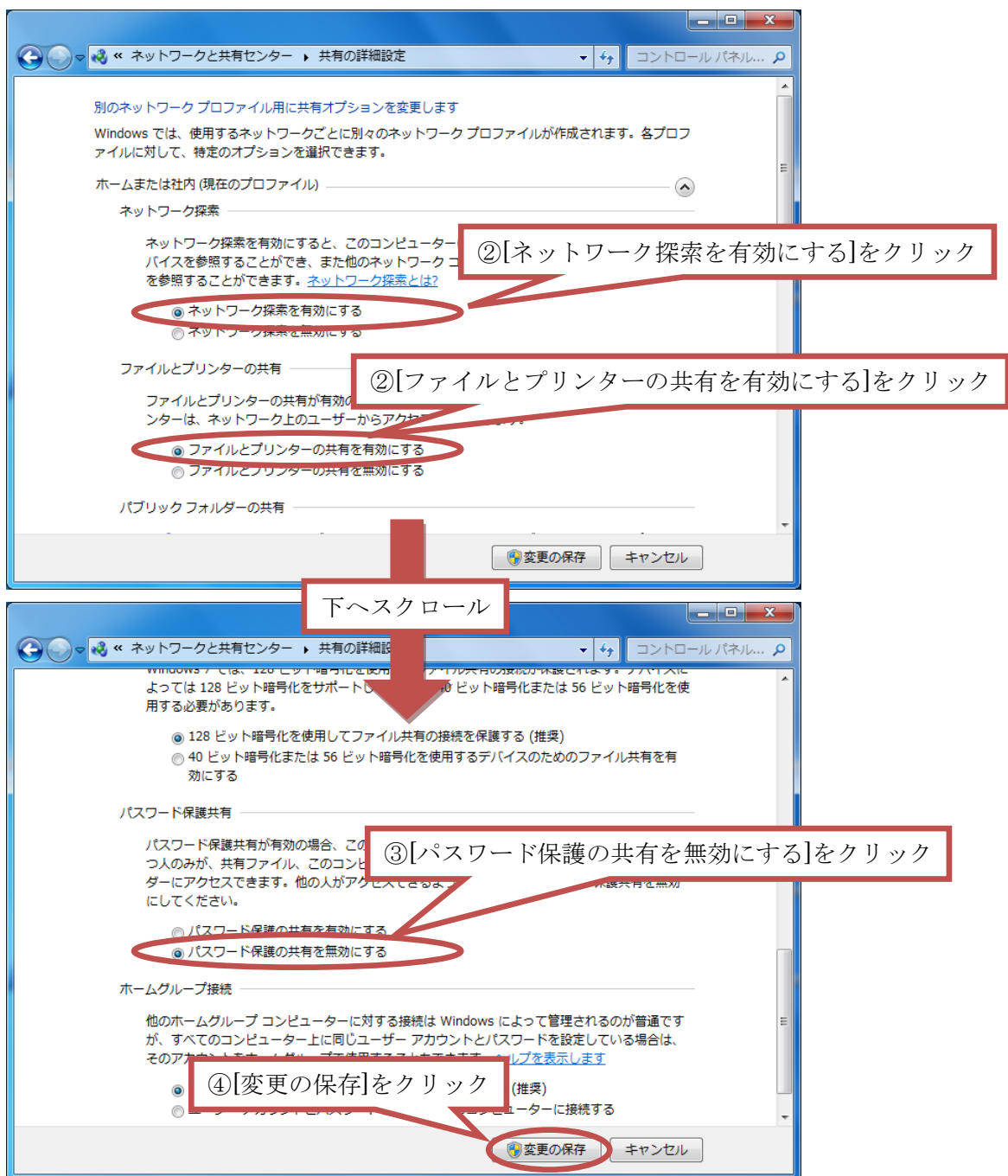
・スクリーンセーバーの設定方法は以下の通りです。スクリーンセーバーを「なし」に、再開時にログオン画面に戻るのチェックボックスを外して、[OK]をクリックして下さい。既に設定されている場合は本画面の操作は不要です。



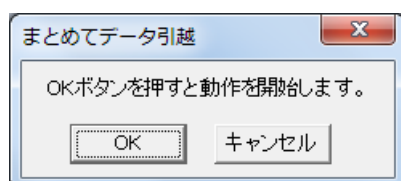
- ・電源オプションの設定方法は以下の通りです。「ディスプレイの電源を切る」と「コンピュータをスリープ状態にする」を「なし」に設定し、[変更の保存]をクリックしてください。既に設定されている場合は本画面の操作は不要です。



- ・ネットワークと共有センターの設定方法は以下の通りです。共有の詳細情報の変更をクリックし、ネットワーク探索を有効にする、ファイルとプリンターの共有を有効にする、パスワード保護共有を無効にするを選択して、[変更の保存]をクリックして下さい。既に設定されている場合は本画面の操作は不要です。



- ・(5-5)で表示されたメッセージボックスの[OK]をクリックします。



(5-6) 移行先 PC がデータ待機状態になります。

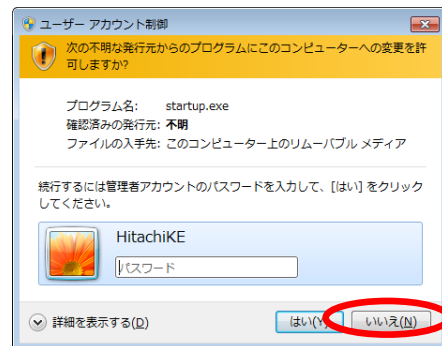
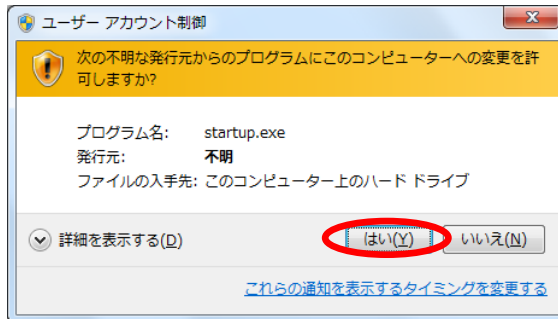
以下のメッセージが表示されたら、移行先 PC での準備は完了です。
本製品の CD を移行先 PC から取り外して下さい。

移行元PCからのデータを待っています。
中止するにはESCキーを長押ししてください。

移行元 PC での作業

(5-7) 本製品の CD を移行元 PC のドライブに挿入し、CD 内の Startup.exe を実行します。

- * 本ソフトは管理者権限を持つユーザで実行してください。
- * 起動時、左側のユーザーアカウント制御ウィンドウが表示された場合は「はい(Y)」をクリックします。右側のウィンドウのように、パスワードを入力する画面が表示された場合は、「いいえ(N)」を押してキャンセルした後、6 章トラブルシューティング (6-1) を参照して管理者権限を持つユーザに変更してください。



(5-8) ソフトが起動するまで待ちます。

Startup.exe を実行すると、以下のメッセージが表示されます。CD を取り外さずにお待ちください。

ソフトを起動しています。CDを取り外さないでください。

(5-9) 「移行元 PC」ボタンをクリックします。

本ソフトのインターフェース画面が表示されたら、移行元 PC ボタンをクリックします。



(5-10) 電源オプションとスクリーンセーバーを設定します。

「移行元 PC」ボタンを押すと、以下のメッセージと共に電源オプションの設定画面とスクリーンセーバーの設定画面が表示されます。メッセージ内容に従って設定を変更してください。なお、スクリーンセーバーを移行する場合は、スクリーンセーバーを「なし」に設定する代わりに、スクリーンセーバーの待ち時間を長く設定してください。

- * Vista 以降の OS は(5-5)と同じ内容になります。Windows XP の場合は以下の手順を参照してください。
- * 本設定をしなかった場合、メッセージコピーの最中などの長時間操作しない期間に PC がスタンバイ状態になり、正常にエクスポート出来ない場合があります。

本ソフトを使用する前に取扱説明書の使用上のご注意をよくお読みください。誤動作を防ぐため、以下の設定の確認および変更を実施してください。

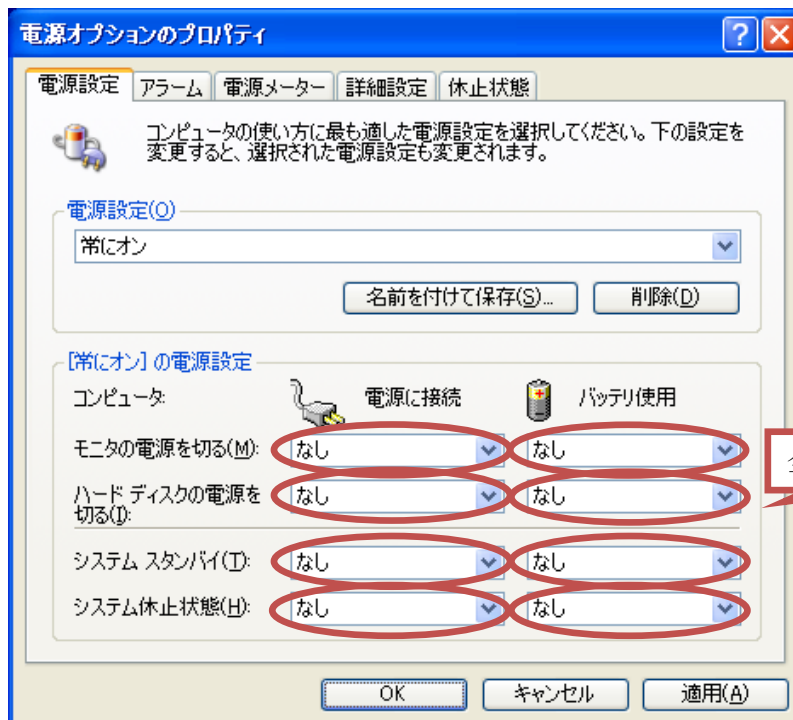
◆電源オプション:

- ・Windows XP の場合
「モニタの電源を切る」を「なし」に設定してください。
「ハードディスクの電源を切る」を「なし」に設定してください。
「システムスタンバイ」を「なし」に設定してください。
「システム休止状態」を「なし」に設定してください。
- ・Windows Vista以降の場合
「ディスプレイの電源を切る時間の設定」を「なし」に設定してください。
「コンピュータがスリープ状態になる時間」を「なし」に設定してください。

◆スクリーンセーバー:

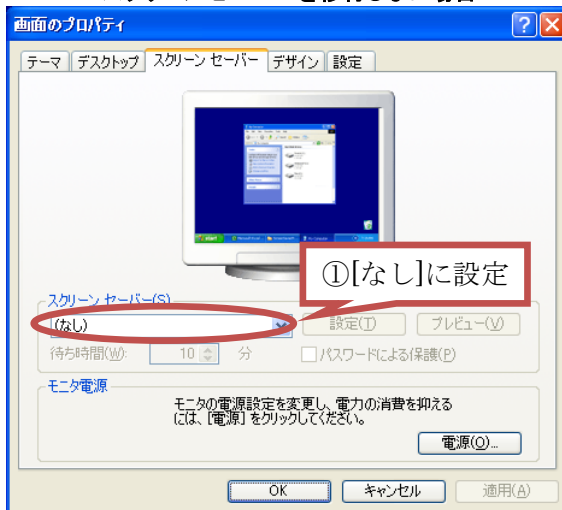
- 「スクリーンセーバー」を「なし」に設定してください。
- 「再開時よろこ画面に戻る」のチェックを外してください。

- ・電源オプションの設定方法は以下の通りです。「ディスプレイの電源を切る」と「コンピュータをスリープ状態にする」を「なし」に設定し、[OK]をクリックしてください。既に設定されている場合は本画面の操作は不要です。

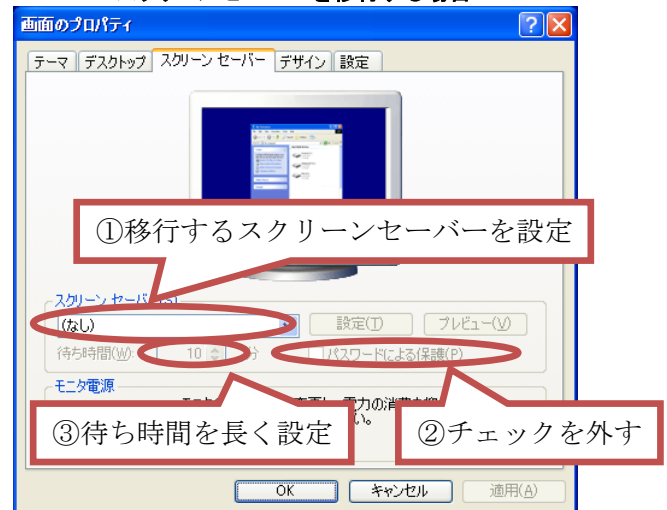


- ・スクリーンセーバーの設定方法は以下の通りです。スクリーンセーバーを「なし」に設定して、[OK]をクリックして下さい。スクリーンセーバーを移行する場合は、スクリーンセーバーを「なし」に設定する代わりに、スクリーンセーバーの待ち時間を長く設定してください。既に設定されている場合は本画面の操作は不要です。

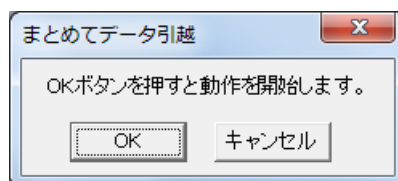
スクリーンセーバーを移行しない場合



スクリーンセーバーを移行する場合

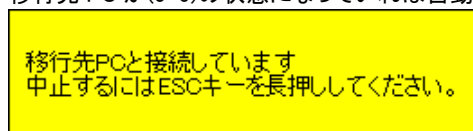


- ・(5-10)で表示されたメッセージボックスの[OK]をクリックします。



(5-11) ネットワーク接続が確立されるまで待機します。

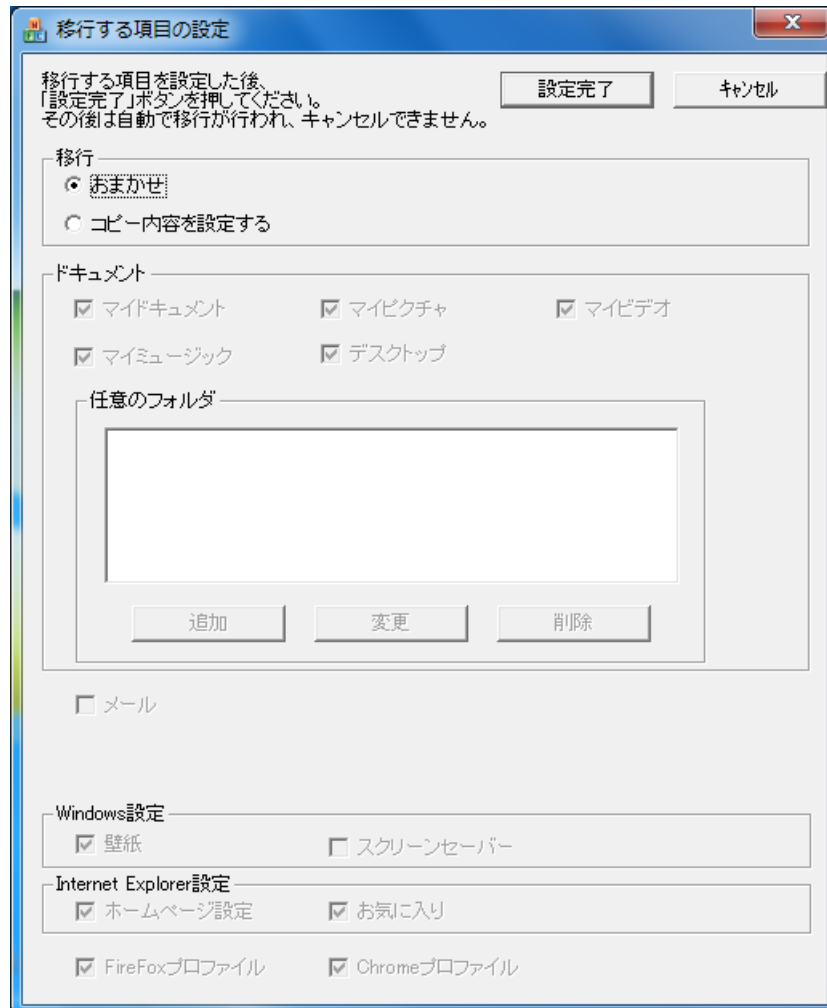
- 電源オプションとスクリーンセーバーの設定を完了すると、以下のメッセージが表示されます。移行先 PC が(5-6)の状態になっていれば自動的に本メッセージが消え、次の手順に進みます。



(5-12) 移行する項目を設定します。

移行する項目を設定する画面が表示されます。全ての項目を移行する場合は、移行の項目内にある[おまかせ]を選択してください。新しい PC へ移行する項目を指定したい場合や、移行対象のフォルダ以外を移行したい場合は、[コピー内容を設定する]を選択してください。

移行する項目を設定したら、[設定完了]ボタンを押してください。



※フォルダが無い等、移行できない項目のチェックボックスはグレー状態になります。

※既に移行が終わっている項目のチェックボックスは外れた状態になります。

・移行する項目の説明

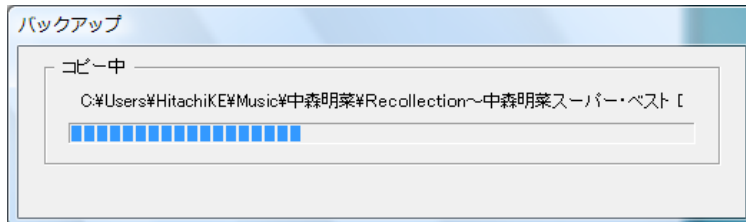
- おまかせ : 選択すると任意のフォルダ以外の全てにチェックが入ります。
- コピー内容を設定する : 選択すると下記の設定を変更できるようになります。
- ドキュメント : チェックボックスで指定したフォルダのファイルとフォルダを移行します。
 - 任意のフォルダ : 移行するフォルダを 16 個まで指定できます。移行するフォルダの追加や変更は、リストボックスの下にある追加/変更/削除ボタンで操作します。
- メール : 使用中のメールのデータを移行します。
- Windows 設定 : チェックボックスで指定した Windows の設定を移行します。
- Internet Explorer 設定 : チェックボックスで指定した項目の Internet Explorer 設定を移行します。
- Firefox プロファイル : Firefox のプロファイルを移行します。
- Chrome プロファイル : Chrome のプロファイルを移行します。

(5-13) 移行データの出力処理

[設定完了]ボタンを押すと移行データの出力処理が自動的に動作します。

- ・ドキュメントデータ、Windows 設定、ブラウザ設定の移行

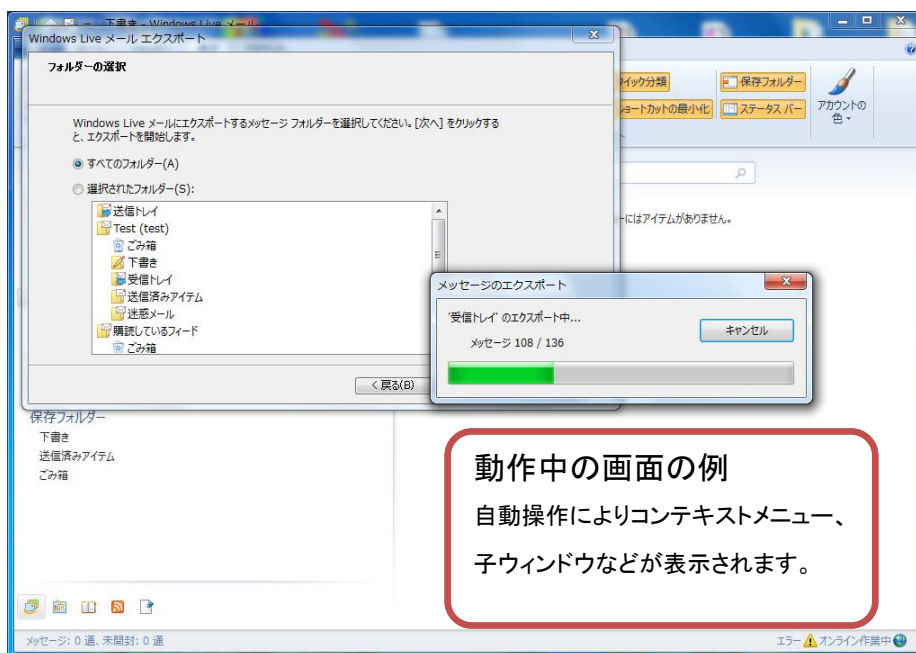
本ソフトのコピー機能を使って移行先 PC ヘデータを出力します。



動作中の画面の例

- ・メールデータの移行

メールソフトの GUI を自動操作して、メールソフトのエクスポート機能を使ってデータを出力します。



動作中の画面の例

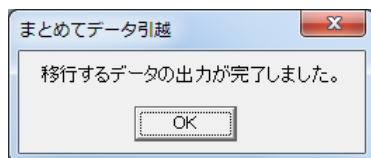
自動操作によりコンテキストメニュー、
子ウィンドウなどが表示されます。

※自動操作中は、誤動作を防ぐためにマウスとキーボード操作が無効化されます。

※データ出力時にエラーが発生した場合は、6 章トラブルシューティングを参照してください。

(5-14) 移行データの出力処理の完了

移行データの出力が完了すると以下のメッセージが表示されます。OK ボタンをクリックして終了してください。

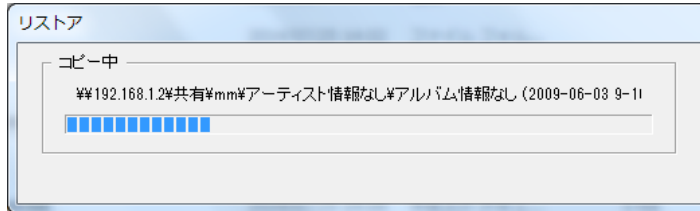


(5-15) 移行データの展開処理

移行元 PC で移行データの出力処理が完了すると、移行先 PC で移行データの処理が自動的に動作します。

・ドキュメントデータ、Windows 設定、ブラウザ設定の移行

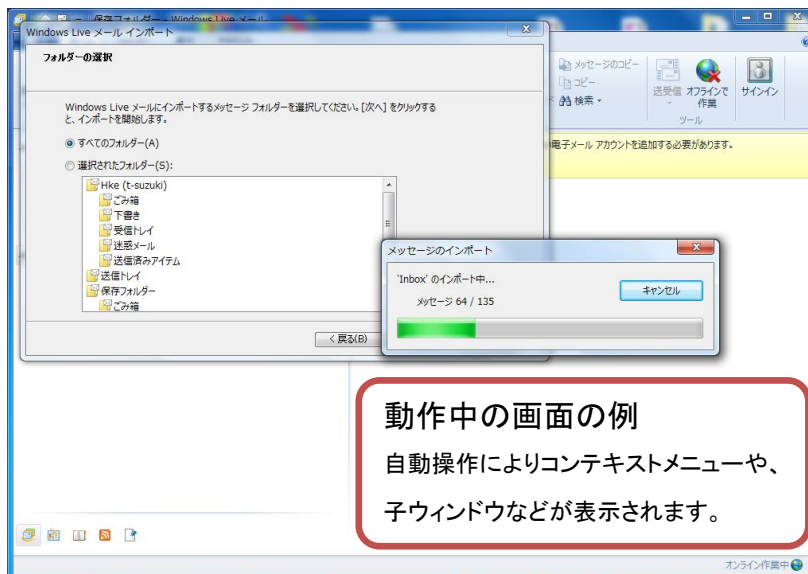
本ソフトのコピー機能を使って、移行先の対応するフォルダへデータを展開します。



動作中の画面の例

・メールデータの移行

メールソフトの GUI を自動操作して、メールソフトのインポート機能を使ってデータを展開します。

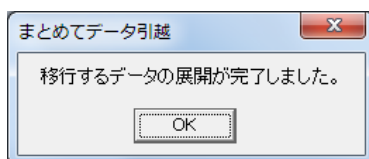


※自動操作中は、誤動作を防ぐためにマウスとキーボード操作が無効化されます。

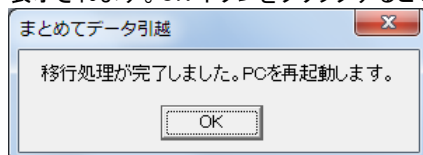
※データ展開時にエラーが発生した場合は、6章トラブルシューティングを参照してください。

(5-16) 移行データの展開処理の完了

移行データの展開処理が完了すると、以下のメッセージが表示されます。OK ボタンをクリックして終了してください。



なお、(5-12)で壁紙/スクリーンセーバーを移行する設定にしていた場合、上記の替わりに以下のメッセージが表示されます。OK ボタンをクリックすると PC が再起動します。



(5-17) 移行完了後の確認

移行データの展開処理が完了したら、移行先 PC で移行したフォルダを開き、データを確認してください。

なお移行元 PC のデータは、移行先 PC の「%TEMP%\%pcmovetool\data」内に保存されていますので、移行完了後、必要に応じて手動にて削除して下さい。

6. トラブルシューティング

本ソフトをご使用中に、トラブルが発生した場合は以下の内容を確認してください。

(6-1) 「管理者権限で実行してください」が表示される。

本ソフトが管理者権限で実行されていない場合に表示されます。本ソフトを実行する際は管理者権限を持つユーザで実行する必要があります。本ソフトを管理者権限で実行する方法は以下の通りです。

・Windows XP での方法

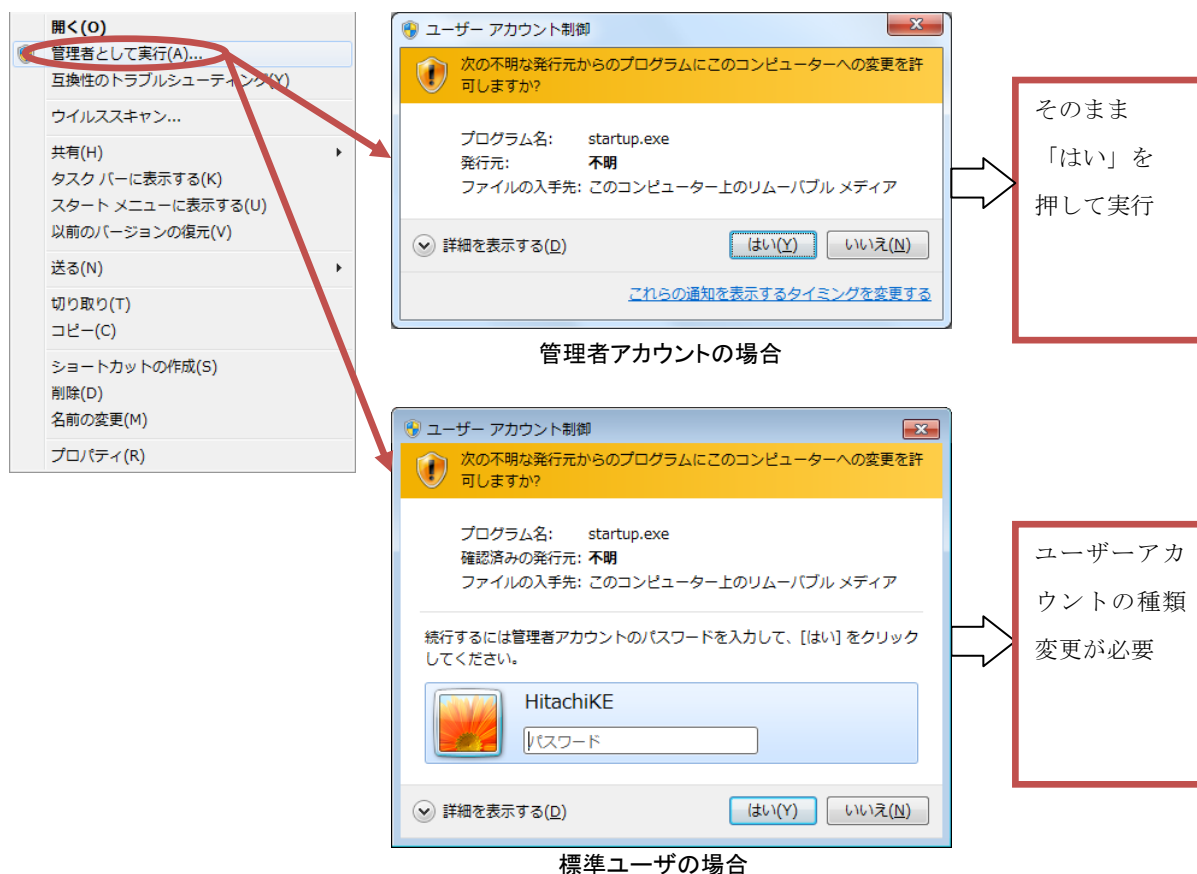
現在ログインしているユーザーアカウントの種類を変更して下さい。

- ① 管理者権限を持つユーザでログインします。
- ② 「コントロールパネル」→「ユーザーアカウント」→移行したいユーザ名をクリックする。
- ③ 「アカウントの種類を変更する」→「コンピュータの管理者」を選択し、「アカウントの種類の変更」ボタンを押す。

※管理者権限を持つユーザについては、PCの管理者にご確認ください。

・Windows Vista/7/8 での方法

実行ファイルを右クリックして「管理者として実行」をクリックします。現在ログインしているユーザーアカウントの種類によって、表示されるユーザーアカウント制御ウィンドウが変わります。標準ユーザの場合にはユーザーアカウントの種類の変更が必要です。



現在ログインしているユーザーアカウントの種類の変更方法

- ① 「コントロールパネル」→「ユーザーアカウント」をクリックする。
 - ② 「アカウントの種類を変更する」→「管理者」を選択し、「アカウントの種類の変更」ボタンを押す。
- * 途中でユーザーアカウント制御ウィンドウが表示された場合は、管理者ユーザのパスワードを入力する。

(6-2) 「有効期限切れです」と表示される。

本ソフトの有効期限が切れている場合に表示されます。有効期限を延長するには、弊社担当窓口までお問い合わせ下さい。

(6-3) 「この機能は Professional もしくはそれ以上のエディションでしか使用できません」と表示される。

本ソフトを実行した PC の OS が対応していないエディションの場合に表示されます。Professional 以上のエディションの PC で使用してください。

(6-4) 「〇〇が動作条件を満たしていません。」と表示される。

本ソフトを実行した PC が動作条件を満たしていない場合に表示されます。本ソフトの動作条件は 3 章を参照ください。

(6-5) 「メールソフト名:〇〇 このメールソフトには対応していません。」と表示される。

移行元 PC で使用しているメールソフトが、本ソフトで対応しているメールソフトでない場合に表示されます。本ソフトで対応しているメールソフトは 3 章の動作条件リストを参照ください。

(6-6) 「イーサネットアダプタが見つかりません」が表示される

内蔵 LAN アダプタ(イーサネットアダプタ)が無効化されているなどの理由により認識されていない場合に表示されます。以下の手順にて、ネットワークアダプタの設定画面を開き、内蔵 LAN アダプタが「無効」になっている場合は「有効」にしてください。

「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」から、内蔵 LAN アダプタを右クリックして「有効にする」をクリックする。

(6-7) 「LAN ケーブルが接続されていません」が表示される

移行元 PC/移行先 PC のどちらかの内蔵 LAN アダプタで LAN ケーブルが認識されていない場合に表示されます。LAN ケーブルを挿し直し、PC が LAN ケーブルを認識するまで待ってからもう一度本ソフトを実行してください。

(6-8) 「移行先 PC との接続待ちがタイムアウトしました」が表示される。

5 章(5-2-6)の「移行先 PC の準備完了を待っています」が表示されてから 5 分以上経過した場合に表示されます。移行元 PC と移行先 PC の接続が出来ていないことが考えられます。移行元 PC と移行先 PC の接続を確認し、再度実行してください。

(6-9) 「移行先 PC の OS は移行元 PC と同じか、より新しい OS である必要があります」が表示される。

移行先 PC の OS が移行元 PC の OS より古いバージョンの場合に表示されます。本ソフトではこのメッセージが表示される組み合わせでの移行は出来ません。

(6-10) 「既定のメールアドレスが見つかりません」が表示される。

移行元 PC のメールソフトに既定のメールアドレスが設定されていない場合に表示されます。メールアドレスを登録してから本ソフトを実行してください。

(6-11) 「メールサーバが POP 形式ではありません」が表示される。

移行元 PC の既定のメールアドレスが POP 形式でない場合に表示されます。本ソフトは POP 形式でないメールアドレスのコピーには対応していません。POP 形式のメールアドレスをご利用ください。

(6-12) 「メールのメッセージデータのフォルダサイズが大きすぎます。」が表示される。

移行元 PC の既定のメールソフトが Outlook Express の場合、メッセージデータのフォルダ一つで容量が 1GB を超えているものは、Windows Live メールへのインポートに失敗する可能性があります。以下の例を参考にして、フォルダを新規作成し、メッセージウィンドウに表示されたフォルダのメールを分割してください。

例) 「受信トレイ」に「分割」フォルダを作成する手順

- ・「受信トレイ」を右クリックしてフォルダの作成をクリック
 - ・フォルダ名の欄に「分割」と入力して OK ボタンを押す
 - ・「受信トレイ」内のメールを全体の半分ほど選択し、右クリックしてフォルダへ移動をクリック
 - ・アイテムの移動先に「分割」を選択して OK ボタンを押す
 - ・メールの移動が終わったら「受信トレイ」の最適化を行う。
- (※これを行わないとフォルダサイズは小さくなりません)

1. 「受信トレイ」を選択

2. Outlook Express のメニューから、「ファイル」→「フォルダ」→「最適化」を押す。

なお、Outlook Express のメッセージデータの容量は、[ツール]→[オプション]→[メンテナンス]→[保存フォルダ]で表示されるメッセージデータの保存先をエクスプローラーで開き、ファイルサイズを表示することで確認できます。

(6-13) 「以下のフォルダのメール件数が 10000 件を超えています。」が表示される。

移行元 PC の既定のメールソフトが Outlook Express の場合で、単独のフォルダでメール件数が 10000 件を超えている場合に表示されます。(6-12)の例を参考にフォルダを新規作成し、メッセージウィンドウに表示されたフォルダ内のメールを分割して件数を 10000 件以内にしてください。

(6-14) 「ウィンドウがタイムアウトしました。」又は「メーラーが応答していません」が表示される。

操作対象のウィンドウからの応答がない場合に表示されます。原因として、Windows や操作対象のメールソフトが非常に重くなっていることが想定されます。PC に複数のディスプレイを接続している場合などは、使用可能なメモリの容量が不足している可能性があります。PC に複数のディスプレイを接続している場合は、メインディスプレイ以外のディスプレイを外したうえで、移行元 PC/移行先 PC を再起動し、タスクトレイに常駐するソフトを含む他のソフト(特にセキュリティソフト)を全て終了してから、再度本ソフトを実行してください。

(6-15) 「ユーザデータの出力に失敗している箇所があります。」が表示される。

移行元 PC から移行先 PC へユーザデータのコピーに失敗した場合に表示されます。ログインユーザにアクセス権がないファイルや、本ソフトを実行した時に他のアプリケーションに使用されているファイルは移行されません。コピーをやり直すには、移行元 PC/移行先 PC を再起動し、再度本ソフトを実行してください。再実行した場合、既にデータ出力が完了している項目は、(5-12)の移行対象の選択でチェックが外れた状態になります。なお、コピーに失敗したデータは、移行先 PC に保存されている以下のログファイルで確認できます。

ログファイルの保存先: %TEMP%\%pcmovetool\data\BackupError.txt

(6-16) 「メールデータの出力に失敗しました。」が表示される。

移行元 PC から移行先 PC へメールデータのコピーに失敗した場合に表示されます。

- ・動作条件を満たしていない場合やメーラーが応答しなくなった場合
→エラーメッセージに表示される、満たしていない条件に対処し、再度本ソフトを実行してください。
- ・「ファイルが見つからない」等のエラーメッセージが表示される、又はエラーメッセージが表示されない場合
→ネットワーク接続が途中で切断される等、ファイルのコピー/参照が出来なくなっている可能性があります。LAN ケーブルの接続状況を見直して移行元 PC/移行先 PC を再起動し、再度本ソフトを実行してください。再実行してもこのメッセージが表示される場合は、以下手順を参照して移行先 PC へ手動でコピーしてください。
 1. 移行元 PC のメールデータをエクスポートし、USB メモリ等の外部記録装置に保存する。
Outlook Express: アカウント設定ファイル(.iaf)、メールデータ(.dbx)、アドレス帳ファイル(.wab)
Windows Mail: アカウント設定ファイル(.iaf)、メールデータ(フォルダ一式)、アドレス帳ファイル(.csv)
Windows Live Mail: アカウント設定ファイル(.iaf)、メールデータ(フォルダ一式)、アドレス帳ファイル(.csv)
Microsoft Outlook: Outlook データファイル(.pst)
※メールデータのエクスポート方法については各メールソフトのマニュアルを参照ください。
※Windows Mail と Windows Live Mail のメールデータは「Windows Live Mail 形式」で出力してください。
 2. 移行先 PC に上記の外部記録媒体を接続し、メールデータを以下のフォルダにコピーする。
移行先 PC のコピー先: %TEMP%\%pcmovetool\data\[メールソフト名のフォルダ]
※メールソフト名のフォルダは、移行元 PC のメールソフト名で生成されます。
 3. 移行先 PC の %TEMP%\%pcmovetool\data\Mail.txt を開き、SETUPED=を YES に変更する。
 4. 本ソフトを再実行し、(5-12)の移行対象の選択で、全てのチェックを外して「設定完了」ボタンを押す。

(6-17) 「アカウント/メッセージ/アドレス帳のインポートに失敗しました。」が表示される。

インポートできない項目のデータ(アカウント設定ファイル、メッセージデータ、アドレス帳データ)が破損している可能性があります。データのエクスポートからやり直す必要がありますので、再度本ソフトを実行し、移行する項目の選択で「メール」を選択して実行してください。

(6-18) 「ユーザデータの展開に失敗している箇所があります。」が表示される。

移行先 PC でマイドキュメント等のフォルダへデータをコピーできなかった場合に表示されます。

コピーをやり直すには、移行元 PC/移行先 PC を再起動し、再度本ソフトを実行してください。再実行した場合、(5-12)の移行対象の選択で全てのチェックを外して「設定完了」ボタンを押してください。再実行してもこのメッセージが表示される場合は、ユーザデータがログファイルと同じフォルダ内に保存されていますので、手動にてコピーしてください。

なお、コピーに失敗したデータは、移行先 PC に保存されている以下のログファイルで確認できます。

ログファイルの保存先: %TEMP%\%pcmovetool\data\RestoreError.txt

(6-19) 「メールデータのインポートに失敗しました。」が表示される。

移行先 PC でメールデータをインポート出来なかった場合に表示されます。本メッセージと同時にエラーメッセージに表示されますので、表示内容に対処したうえで再度本ソフトを実行してください。再実行した場合、(5-12)の移行対象の選択で「メール」のチェックを外して「設定完了」ボタンを押してください。

(6-20) 「移行先 PC と接続しています」と「移行元 PC からのデータを待っています。」が表示されたまま進まない。

移行元 PC と移行先 PC の接続が確立出来ていません。本現象が発生した場合は、移行元 PC/移行先 PC ともに ESC キーを長押ししてソフトの動作をキャンセルしてください。

下記の設定を確認してから、本ソフトを再度実行してください。

- ・移行先 PC の「ネットワークと共有センター」の「パスワード保護共有を無効にする」にチェックが入っているか？
- ・移行元 PC と移行先 PC の IP アドレスが同一の値に設定されていないか？
- ・移行元 PC と移行先 PC のワークグループが同じ名称になっているか？
- ・移行元 PC と移行先 PC のセキュリティソフト及びファイアウォールは無効になっているか？

(6-21) メールのエクスポート/インポートの途中で動作が止まる。

Windows や操作対象のメールソフトが非常に重くなっていることが想定されます。CTRL+ALT+DEL キーを押してマウス・キーボード無効化を解除した後、ESC キーで本ソフトを強制終了し、メールソフトを一旦終了してから、再度本ソフトを実行してください。

(6-22) Windows Live メール上にメールアカウントやインポートされたフォルダがないのに、削除を促すエラーメッセージが表示される。

Windows Live メール上で削除したアカウントやフォルダは、削除対象のメールやフォルダを開いた状態で削除すると、削除に失敗することがあります(Windows Live メール上からは消えますが、エクスプローラー上に残り続けます)。以下の手順で、エクスプローラー上から該当するフォルダを削除して下さい。

Windows Live メールの保存先: [オプション] →[メール] →[詳細設定]タブ→[メンテナンス]→[保存フォルダ]

アカウントの削除: Windows Live メールの保存先/アカウント名のフォルダ

インポートされたフォルダの削除: Windows Live メール/Storage Folders/インポートされたフォルダ

(6-23) 「移行用の設定ファイルが見つかりません」が表示される。

移行用の設定ファイルへのアクセスが失敗した場合に表示されます。原因として、Windows が非常に重くなっていることが想定されます。PC に複数のディスプレイを接続している場合は、メインディスプレイ以外のディスプレイを外したうえで、移行元 PC/移行先 PC を再起動し、タスクトレイに常駐するソフトを含む他のソフト(特にセキュリティソフト)を全て終了してから、再度本ソフトを実行してください。

(6-24) 移行先 PC のメールフォルダ構成が移行元 PC のメールフォルダ構成と異なる。

Windows Live Mail の仕様により、Windows Live Mail の UI 上でフォルダ構成を変更しても、変更前の情報でエクスポートされてしまうためです。本現象が発生した場合は、移行処理が完了した後で、移行先 PC で再度ドラッグ & ドロップしてフォルダ構成を変更してください。

7. お問い合わせ等

お問い合わせ先

株式会社 日立ケーイーシステムズ

〒275-0001 千葉県習志野市東習志野 7-1-1

TEL 047-472-8633

HP URL <http://www.hke.jp>

登録商標等

- ・PC/AT は米国 IBM Corp.の登録商標です。
- ・Windowsは米国Microsoft Corp. の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・本製品は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートはおこなっておりません。
- ・本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法律などの規制をご確認のうえ必要な手続きをお取りください。
- ・記載されている製品の内容は予告なしに変更する場合があります。